

九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター  
社会連携特別企画「言総研 国語セミナー」

# 万葉集から見る 日本語・日本文学史

講師

古川 大悟先生

(九州大学講師＝国語学・国文学)

日時・会場

2026年3月7日(土)

14:00-16:00

Zoomによるハイブリッド開催

[対面] JR博多オフィス9階会議室1 福岡市博多区博多駅中央街1番1号 / 定員:80人

参加  
無料

概要

万葉集の原文はすべて漢字で書かれています。高校教科書をはじめ一般向けの万葉集のテキストには、多くの場合、漢字平仮名交じりの「訓読文」が載せられていますが、それぞれの歌の訓読が定まる背景には、平安時代以降の長い万葉学の歴史があります。訓読を試みた人々の頭には、「平仮名や片仮名がない昔の日本語はどんな姿をしていたのか」という問いがありました。そして、そうした人々の軌跡を辿ることは、万葉集を読み継いできた日本文学の歴史を知ることでもあります。万葉集を切り口として、日本語・日本文学の歴史を見てみましょう。

お申込み

- 国語教員に限らず、どなたでも参加になれます
- 2026年3月5日(木)までに、当センターのHPからお申し込みください

言語運用総合研究センターURL ▶ URL: <https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>



お問い合わせ先

九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター (cslp@lit.kyushu-u.ac.jp)

共催：九州大学文学部・社会連携推進委員会／九州大学人社系協働研究・教育コモンズ  
運営：九州大学大学院人文科学研究院附属言語運用総合研究センター  
後援：福岡県高等学校国語部会